

LL操作ユニット WE-LL510

■概要

- 本機は、LLプロセッサWU-LL50との組み合わせにより、LLシステムWE-LL500シリーズの操作を行います。
- 教材送出、授業形態の設定、先生と生徒(ブース)間のコミュニケーション制御、マスター・ブース機器の制御、教材編集などの基本機能を持ちます。
- スイッチ操作方式を採用、ワンタッチで操作できます。

■特長

- 使用頻度にあわせて、操作するスイッチの大きさを変えています。
- 使用頻度にあわせて、操作パネルを3段階に分けています。
 - (1)基本操作 : コミュニケーション機能、レッスンパターンスイッチ
 - (2)応用操作その1 : コミュニケーション機能、レッスンパターンスイッチ、ブースリモコン、AVリモコン、音量調整
 - (3)応用操作その2 : コミュニケーション機能、レッスンパターンスイッチ、ブースリモコン、AVリモコン、音量調整、教材編集、授業モード変更、会話レッスン、アナライザー/ヒアリングテスト (WU-LL55と、パソコン接続が必要です)
- レッスンパターンスイッチに操作手順を登録でき、レッスンパターンスイッチを押すだけで登録した手順を実行します。
- レッスンパターンスイッチにはエキスパート機能、電源オン、32ステップまでの操作内容が登録できます。
- DSP(デジタルシグナルプロセッサ)を使ったスピードコントロール機能とマスターテープレコーダー(WE-LM50)の組み合わせによりテープレコーダーの再生速度を-30%~+15%まで可変しても自然な音声で聴こえます。
- 生徒を指定する個別生徒スイッチはワンタッチでモニタとインカムができるシーソーススイッチです。
- マスターテープレコーダーに加え、LL操作ユニットからVTR、LDのリモコンができます。
- マスターテープレコーダー、VTR、LDで任意の区間を繰り返し再生するPRL(パラグラフリピートレッスン)ができます。
- マスターテープレコーダー、VTR、LDに対して各々5ポイントのカウンター値を登録して、カウンターサーチが可能です。
 - *マスターテープレコーダー、VTR、LDの機種はシステムで指定しています。
- 一斉授業ではブースへの送出教材を選択するだけで一斉に切り換わるオーバーライド機能があります。
- 一斉授業で教材を4倍速録音中に他の教材をブースに送出して生徒が聞くことができます。(4倍速のブーステープレコーダーWE-LB50使用時)
- ノーマル(通常のLLでのオーラルオーラル授業)、ステレオ、バイリンガル、サイマル(同時通訳)の4モードがあります。
- 二か国語教材を使ったバイリンガルレッスンには和文英訳、英文和訳、通訳、ドリルの4モードがあります。
- ペア、フリーペア、グループの会話モードがあります。ペアレッスンでは3組までのピックアップペアが可能です。
- マスターテープレコーダー1とV1、マスターテープレコーダー2とV2、VTR、LDの4系統の映像と音声連動してブースへ送出されます。
- 先生用のモニタ、生徒用のモニタ、教室内のビデオプロジェクタに別々の映像を送り出せます。
- ブースへ送出する映像のみをカットすることができます。
- 20項目のエキスパート設定が可能です。
- 自己診断の機能により、スイッチ、ランプ、メモリーの試験と、マスターテープレコーダー、VTR、LD、ブーステープレコーダーの接続の確認が可能です。

■システム構成(別売品)

●マスター部

LL操作ユニット	WE-LL510	1
LLプロセッサ	WU-LL50	1
LL表示ユニット	WU-LL55(使用時パソコンが必要)	1
マスター卓	WE-L500	1
14モニタ取付けセット	W2-CA/L500(パソコン用CRTを取り付けます)	1
袖卓	WL-L210A	任意
コーナー天板	WU-L210A(オプション)	0~2
60コーナー用リアパネル	W2-EP/L210(オプション)	0~2
ヘッドセット	WE-HS21(ステレオ仕様)	1~2
外部マイク	(オプション)	1
マスターテープレコーダー	WE-LM50	2
OHC	WE-160	1
10型モニタテレビ	WV-CM1000	1
映像分配器	WJ-300C(システム構成により必要)	0~8

●オーディオ・ビデオシステム(事)扱い

VTR	AG-5700	1~2
	AG-7350(RS-232Cカード(AG-IA232TC)が必要)	1~2
LD	VD-7000	1~2

●コンピュータ(事)扱い

パソコン	CV-M560HF(WU-LL55使用時に必要)	1
JISキーボード	CV-MKB504(パソコンと組み合わせて)	1
CRTディスプレイ	CV-MDC545(パソコンと組み合わせて)	1
日本語MS-DOS*	CO-SA004U1-A	1
M-BASICコンパイラ	CV-SA102U1	1
AVカード2	CV-MEV506(オプション)	1
漢字プリンタ	(オプション)	1
カットシートフィーダ	(オプション)	1
トラクタユニット	(オプション)	1

注：*日本語MS-DOSは米国マイクロソフト社の登録商標です。

●ブース部

ブース卓	WE-L150	最大32
	WE-L151(10型モニタテレビ(WV-CM1000)用)	最大32
	WE-L152(10型モニタテレビ(WV-CM1400)用)	最大32
ブーステープレコーダー	WE-LB50	最大64
	WE-6510A(4倍速、ステレオ、サイマル、4倍速時の別教材送出、アナライザ、 ヒアリングテストは不可)	最大64
	WE-6520(4倍速、ステレオ、サイマル、4倍速時の別教材送出は不可)	最大64
	WE-6610(ステレオ、サイマル、4倍速時の別教材送出は不可)	最大64
10型モニタテレビ	WV-CM1000(WE-L151使用時)	最大32
14型モニタテレビ	WV-CM1400(WE-L152使用時)	最大32
ヘッドセット	WE-HS21(ステレオ仕様/ブーステープレコーダーWE-LB50使用時)	最大64
	WE-HS10(モノラル仕様/ブーステープレコーダーWE-6510A、 WE-6520、WE-6610使用時)	最大64

■主な機能

1) レッソンの種類

- ノーマル(通常のLLでのオーラルオーラル授業)
 - A) チャンネル1 一斉授業
オーバーライド可能
 - B) 4チャンネル授業
教材割当(チャンネル1・2・3・4・自習)
全員/列/個別/生徒選択
- ステレオ
 - A) チャンネル1 一斉授業
オーバーライド可能
 - B) 2チャンネル授業
教材割当(チャンネル1・2・自習)
全員/列/個別/生徒選択
- バイリンガル
MTR 1 一斉授業
 - 和文英訳
 - 英文和訳
 - 通訳
 - ドリル
- サイマル(同時通訳)
 - A) チャンネル1 一斉授業
オーバーライド可能
 - B) 1チャンネル授業

2) 音声コミュニケーションの機能

- オールコール
- モニタ
 - A) 個別モニタ
 - B) オートモニタ
 - C) グループモニタ
- 通話
 - A) 個別インカム
 - B) グループインカム(バイリンガル、サイマルレッスン時は不可)
 - C) モデルインカム(バイリンガル時は不可)
 - D) コールレスポンス
 - E) コール要求禁止

3) AVリモコン

- リモコン
 - A) ソース選択(MTR 1・MTR 2・VTR・LD)
 - B) リモコン(PAUSE・REW・STOP・PLAY・FF・REC・SIDE・SBL・PRL・イジェクト)
*SIDEはLDのみ、SBLはMTRのみ
*LD: REC除く、FF・REWはチャプター/トラックになり、CAV方式以外のLDはPAUSE
で画面が消えます。
- 5ポイントメモリサーチ
登録・1・2・3・4・5
- MTRポーズ制御
- MTR速度制御(MTR 1)
-30%、-25%、-20%、-15%、-10%、-5%、0%、+5%、+10%、+15%

4) ブースの制御

- 電源の制御

一斉電源オン・個別オフ

- ブーステープレコーダーの制御

- A) ブーステープレコーダーリモートコントロール
- B) ブース状態表示(個別モニタインカム時/通常は全員の状態を表示)
- C) ブースマイクオフ
- D) カセットイジェクトロック

5) 教材送出

- チャンネル1一斉

- A) オーバーライド(ブース出力スイッチによる)
MTR1/V1・MTR2/V2・VTR・LD(バイリンガルはMTR1に固定)
- B) 映像カット
- C) 音声トラック切換
- D) マイクミキシング

- 複数チャンネル

- A) チャンネル割付

	ノーマル	ステレオ
CH 1	MTR1/V1	MTR1/V1またはVTR
CH 2	MTR2/V2	MTR2/V2またはLD
CH 3	VTR	————
CH 4	LD	————

*映像信号の切り換えはビデオランダムユニット(別売)で行います。
バイリンガルレッスンとサイマルレッスンはMTR1/V1に設定されます。

- B) 一斉映像カット
- C) 一斉トラック切換

- VP出力

映像出力選択(V1・V2・VTR・LD)

6) マスターコンソール制御

- レッスンパターンスイッチ

登録・1・2・3・4・5・6・7・8

- 先生モニタ

モニタ選択(MTR1/V1・MTR2/V2・VTR・LD)

- 音量調節

マイク・モニタ・ルームスピーカ・バランス

- スピーカ オン/オフ

ルームスピーカ・モニタスピーカ

- 録音(教材・モニタ)

7) 教材編集

- コピー
- 4倍速コピー
- ポーズコントロール

MTR切替(MTR1・MTR2)

モード

センテンス・ポーズ(SP)

センテンス・センテンス・ポーズ(SSP)

センテンス・ポーズ・センテンス・ポーズ(SPSP)

センテンス・センテンス・ポーズ・センテンス(SSPS)

コントロール

センテンス間のポーズ時間(0.5秒・1.0秒・1.5秒)

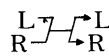
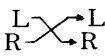
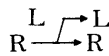
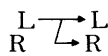
練習ポーズ時間倍率(×1.0・×1.5・×2.0)

文章スキップ

- バイリンガル編集

訳文入力

- トラック切替



8) エキスパート設定

- | | |
|-----------------|----------------------------|
| ● 学習者手動録音禁止 | 禁止する・禁止しない |
| ● 自動イジェクト | イジェクトする・イジェクトしない |
| ● 教材録音時のマイクオフ | オフにする・オフにしない |
| ● 個別インカム時のチャイム音 | 聞かせる・聞かせない |
| ● マスキング | 停止させる・停止させない |
| ● コミュニケーション復帰 | 復帰する・復帰しない |
| ● モデル練習モード | グループ・個別 |
| ● ブース電源オフ指示 | 切れる・切れない |
| ● マスターとブース電源連動 | 電源入る・電源入らない |
| ● スキャン時間 | 5秒・10秒・15秒 |
| ● スキャン方向 | 縦方向・横方向 |
| ● ペアの組みかた | 縦ペア・横ペア |
| ● ペア・グループの組みかた | 自動組み換え・手動組み換え |
| ● チャンネル保存 | 保存する・保存しない |
| ● 電源オン後のオールコール | 行う・行わない |
| ● 遅刻者の授業への参加 | CH1に組み入れる・CH2に組み入れる・参加させない |
| ● 使用チャンネル | CH1のみ・複数CH |
| ● アナライザデータ保存 | 保存する・保存しない |
| ● 学習者データ保存 | 保存する・保存しない |
| ● アナライザでのチャイム音 | 聞かせる・聞かせない |

9) システム自己診断

- スイッチ動作、ランプ表示
- 操作ユニットROM、RAM、不揮発性メモリテスト
- LLプロセッサROM、RAMテスト
- マスターテープレコーダー接続確認テスト
- VTR、LD接続確認テスト
- ブーステープレコーダー接続確認テスト

■定格

●入力

ステレオヘッドセット1マイク：-62dB 1k Ω ミニジャック
ステレオヘッドセット2マイク：-62dB 1k Ω ミニジャック
外部マイクロホン：-62dB 47k Ω 単頭ジャック
予備入力端子(R・L)：-10dB 10k Ω ピンプラグ

●出力

ステレオヘッドセット1フォン：-20dB 32 Ω X2 ステレオミニジャック
ステレオヘッドセット2フォン：-20dB 32 Ω X2 ステレオミニジャック
モニタスピーカ：0.25W 8 Ω X2 (R・L)端子台

●接続機器と端子

LLプロセッサ(WU-LL50)

電 源：角形15Pコネクタ・角形3Pコネクタ

音 声：15P D-SUBコネクタ

制 御：3P端子台

スピードコントロール：9P D-SUBコネクタ

パソコン

制 御：3P端子台

R S 2 3 2 C：25P D-SUBコネクタ

周波数特性：50Hz～20kHz

S / N：50dB

ひずみ率：1%以下

電 源：LLプロセッサより供給

質 量(重量)：約12.7kg

寸 法：640(幅)×165.5(高さ)×440(奥行)mm

仕 上 げ：AVアイボリー

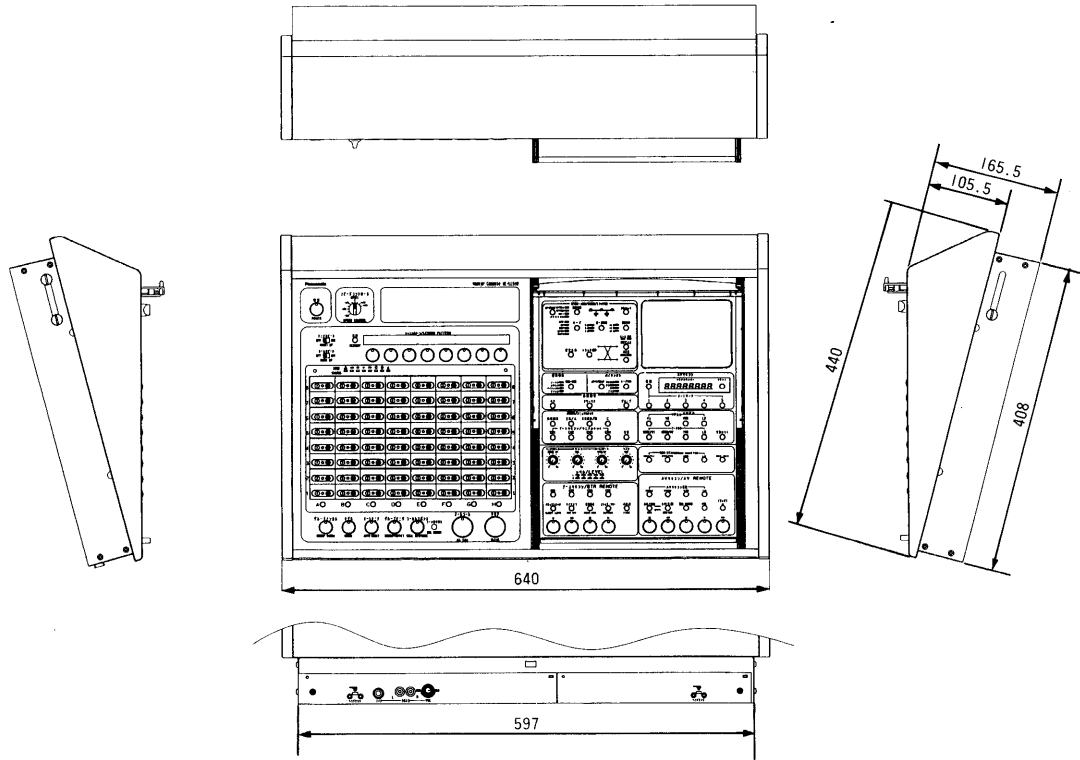
(マンセル7.9Y6.8/0.8近似色)

■付属品

生徒記名シート…………… 5
エキスパート機能シート…………… 1

番号ラベルシート…………… 1
取扱説明書…………… 1
保証書…………… 1

■外観寸法図



単位	mm
縮尺	1/10

■ブロックダイアグラム

